

平成23年度 冬のエコスタイルチャレンジ 項目ごとの「具体的取り組み内容」

5 独自の取り組み	
卸売・小売業	・省エネ家電製品、省エネ機器の電気製品の拡販と情報提供に努める。
	・壁紙の色を明るくし、蛍光灯をなるべく使わずに明るくする。
	・昼休み、休憩時の電気の消灯
	・厚着をする。ホッカイロ持参。しょうがあめ、しょうが湯。
	・換気扇の清掃
	・ショールーム内ファンを回し暖房効率アップ
	・冬期間のロードヒーティングの温度を下げる
	・ショールームに膝掛けを置き、お客様にも協力して頂く。
	・西日の強い日は暖房も使用しない
	・除雪はスノーダンプで行う
	・最大需要電力を上げないように使用する電気製品は、グループ別に30分以上の時間差をつけて電源ONする。
	・事務所・ショールーム等に節電中の掲示をして、お客様に不快感を与えない様に配慮する。
	・本場者プレゼントにソーラー充電器などをお客様にプレゼントして、地球温暖化を意識してもらい、より一層の節電を訴えていきたい。
	・ひざかけ、ゆたんぼの使用
	・ミスプリント削減の声かけ。
	・食器等洗いものはなるべくまとめて、水資源の節約。
	・個人の暖房機は使用禁止。
	・自販機のタイマー設定している。
	・ハンドドライヤーの使用停止。
	・冷蔵庫の電源OFF。
・外気(冷気)の出入りを少なくするため、ドアの内側にビニールをカーテン状に入れる	
・積極的に雪掃きを実行し、体をあたたかくする。	
・紙コップの使用をやめて、マイカップを持参。	
・片面印刷をやめて、両面印刷を実施。	
・自販機省エネタイプ交換	
金融・保険業	・冷蔵庫、電子レンジ、電気ポットを必要最小限とする
	・3基あるエレベータの内1基を常時運転停止。
	・各施設に「冬の節電行動計画書」を策定させ、全施設で必須の節電アクションを確認した上で、施設毎に可能な独自の対策を考案。社員への節電の啓発を図ると共に、有益な取り組みについてノウハウを社内でも共有する。
建設業	・ブラインドの有効な使用
	・お昼休みの消灯の徹底
	・省エネ、エコドライブ、安全運転の教育実施(年2回以上)
	・ごみ削減、分別徹底のための社員教育スローガン募集と優秀作品の表彰、掲示
	・コピー用紙、ダンボール等の紙類はリサイクルセンターへ
	・節ガス・節水に心がける
	・毎日の使用量(前年との比較)を掲示して節電に努めてもらう。
	・時間外勤務や休日出勤は必要最小限にするように各部署に依頼する。
	・BDFてんぶら油の回収
	・エコキャップの回収
・環境教育資料の発行	
・省燃費運転の実施	
・待機電力の削減	
サービス業	・雪道での安全走行教育
	・省エネ運転の奨励、燃料使用量の削減
	・紙使用量の削減、有効なりサイクルの実施
	・事務室やロッカールームなどで可能な限り間引きする
	・自動販売機の夜間停止
	・消雪用井戸ポンプの天候に合わせた使用
	・事務室内照明器具をインバータ式に交換及び廊下等照明器具をLEDに交換する
	・外灯の全停止
	・電気ポットの代わりに魔法瓶ポットを使用
	・エアコン、ファンヒーターの代わりに、対流式ストーブを使用。
	・空調機、2台の内1台停止。稼働時間の効率化。
	・お客様のところで使用させていただくエネルギー等は節約に心がける。
	・社内での給食弁当は割り箸辞退でマイ箸を使用。
	・PCディスプレイ輝度を40%に設定。
	・PC「ディスプレイの電源を切る」を5分以内、「スリープ状態にする」を15分以内に設定。
・省エネタイプ(スイッチ付コンセント)活用。	
・ノー残業デー実施	
・FSC認証用紙の使用(通年)	

平成23年度 冬のエコスタイルチャレンジ 項目ごとの「具体的取り組み内容」

5 独自の取り組み	
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保護印刷対応機材の使用(通年) ・扇風機をサーキュレーターとして使用し、石油ファンヒーター等の使用頻度を少なくする。
情報通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ製品の選択購入 ・エコキャップの回収 ・エコックを使用 ・紙使用量削減の徹底 ・定時退社の推進
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所・休憩室の蛍光灯をヒモ引きスイッチにし必要な箇所だけ使用。 ・エアコンフィルターの清掃、空調機の更新。 ・ISO14001の目的・目標を設定し削減施策を展開 ・排風機の統合とインバーター化 ・蒸気ドレン水回収 ・空調機の入替え ・油圧ポンプの自動停止 ・生産設備待機電力の削減(主電源OFFの徹底) ・蒸気管に保温帯 ・各部門輪番制で環境ニュースを全従業員に向けて毎月発行。勉強会等でこれを展開し、エコ啓蒙を実施。 ・各家庭でのエコ事例を紹介し、家庭レベルへ展開。 ・コンプレッサー排熱の製造フロアへの夜間取り込みで暖房負荷低減。 ・空調(温水ポンプ)運転の系統別運転管理責任者を決め、必要系統を運転。 ・作業改善・作業の効率化による省エネの推進。 ・外気や廊下の寒気の侵入を抑える。開きっ放しにしない。 ・窓にエアセルマット(プチプチ)を貼る。 ・カーテンが無い所にはカーテンを付ける。 ・椅子の下にマットを敷く。 ・蛍光灯・OA機器等の不要・席を離れる時電源OFF。(周知) ・ハイパーで使用している重油、灯油の重削減のため、暖房期間中11-15時の間ハイパーの停止を実施する。(ただし低温時は除く) ・ベレットストーブの利用拡大。 ・会社近隣者の徒歩通勤奨励。 ・省エネパトロール(1回/月) ・電力管理システムを活用したピーク電力&総量の削減 ・節電対応の機器への切り替え ・廃棄していた温風の再利用 ・外の空気が入らないように従業員の入り口に風除室を設けた。 ・エアームれの点検。
団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デーを設ける ・大量にコピーする場合などピーク時間をさける ・マイボトル持参など、積極的に取り組む。 ・事務所内にLED照明を導入 ・敷地内街路灯の一部消灯 ・駐車場・共同スペース照明の間引き ・コピー機の一部停止 ・節電を呼び掛ける庁内放送を毎日放送 ・節電啓発の張り紙 ・「プチプチ」断熱シートを窓に可能な範囲で貼る。 ・市民に向けて、広報誌やHP上で地球温暖化防止対策や省エネの普及啓発に取り組んでいきます。 ・ラジオ番組でもウオームビズを取り上げ、市民への普及を図ります。
電気 ガス 熱供給 水道業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の節電(夜間(19時~6時)20%減の省エネ運転 ・全所で急加速、急発進をしないエコドライブの実践。 ・パソコンの省エネモード(5分以内)の設定を全員行う ・省エネルギー月間の積極的活動。 ・節電だけではなく、水の使用量を削減するため、トイレの蛇口の水量を少なくするよう調整している。 ・暖房は電気とガスで動いているため、動かす場所を減らして、電気とガスの使用量削減に努めている。